

朝採りトウモロコシを新宿で配布

新宿の人に新鮮なトウモロコシを味わってもらい、結城市をPRしようと、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団 (IIFP)」と「茨城を食べよう運動推進協議会」は7月7日、結城市で朝一番に収穫されたトウモロコシ約 3500 本を無料配布しました。

午前1時ごろから収穫されたトウモロコシは、多田正毅理事長や白井平八郎県議、IIFP 職員らとともに午前9時ごろに新宿区四谷二丁目に到着。四谷二丁目町会（藤井総一会長）の協力で、トウモロコシ 1500 本を袋に詰めて準備をしました。同町会では、事前にチラシにトウモロコシの無料配布券をチラシなどで配っていたため、小雨模様の天候にもかかわらず、配布予定の午前10時にはすでに長蛇の列ができていました。

約 1500 本用意したトウモロコシは、わずか 20 分で配布を終えました。また、新宿区で開設している子ども食堂などにも約 500 本が配布されました。

この後一行は、新宿区下落合二丁目のおとめ山公園に到着。新宿区の吉住健一区長も駆け付けて、午後7時から開催された「ホテル観賞の夕べ」に配布するトウモロコシ約 1500 本を降ろしました。

新宿区と結城市は、新宿区在住で城西病院名誉院長の高山雅臣・東京医科大学名誉教授が仲を取り持ち、都市と地方の交流を進めようとしており、今回のイベントがその第一弾となりました。

2019年7月8日



おとめ山公園

